七戸町立鷹山宇一記念美術館開館30周年記念

青森の光となれ！

―皆若くして強烈であった― 鷹山宇一

鷹山宇一「はまべの歌」油彩・キャンバス
青森県立美術館蔵

青光画社 展

～棟方志功・松木満史・古藤正雄・鷹山宇一たちの青春～

2025年

9月13日(土)→11月3日(月・祝)

月曜休館(但し9/15、10/13、11/3は開館、それぞれ翌日振替休館)
開館時間10:00～18:00(最終入館17:30)
※9/19、9/26は「ふらっとフライデー！サマーナイトミュージアム！！」20:00迄開館(最終入館19:30)

入 館 料　一般800(640)円、高校・大学300(240)円
※中学生以下無料
※(　)内は20名様以上の団体前売券、
ふらっとフライデー！サマーナイトミュージアム！！割引料金
※その他各種10%割引有り

主　　催　公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会
共　　催　青森放送株式会社、鷹山宇一記念美術館友の会
後　　援　青森県、青森県教育委員会、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会
(一社)しちのへ観光協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社
特別協力　青森県立美術館、青森県立郷土館、青森県近代文学館、弘前市立博物館
一般財団法人棟方志功記念館、青森市教育委員会、むつ市教育委員会、
つがる市教育委員会、一般財団法人青森県立青森高等学校後援会、鳳松院、
ギャラリー森山

道の駅しちのへ「七戸町文化村」　～語り継がれる展覧会を～
七戸町立鷹山宇一記念美術館

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860
https://www.takayamamuseum.jp/

古藤正雄「獺」
木彫　むつ市教育委員会蔵

古藤正雄「大和乙女」
木彫着彩　むつ市教育委員会蔵

鷹山宇一「放牧地への道」油彩・キャンバス
七戸町立鷹山宇一記念美術館蔵

鷹山宇一「縹渺夢幻」油彩・キャンバス
個人蔵

棟方志功　「警刻の柵」
木版・紙　棟方志功記念館蔵

下澤木鉢郎　「下北の女」木版画・紙
弘前市立博物館蔵

下澤木鉢郎　「六郷川」木版画・紙
弘前市立博物館蔵

松木満史「裸婦」油彩・板
青森県立美術館蔵

松木満史「ラリューヌ」油彩・麻
青森県立郷土館蔵

棟方志功　「二菩薩釈迦十大弟子」
屏風六曲一双　鷹松院蔵

青光画社（青光社）とは、大正11年に青森市で棟方志功が立ち上げた美術団体です。青光画社は昭和4年まで活動し、それに参加した芸術家は約90人にもなりました。棟方の自伝にも、彼の青春時代を象徴する出来事として、青光画社は必ず引用され、そのユニークな活動が書かれています。とはいえ、青光画社が青森県の大正期における主要な団体であるにも関わらず、その設立年、設立メンバー、活動期間、活動内容等不明な点も多かったのも事実です。しかし、近年青光画社の調査・研究が進み、その詳細がわかってきました。本展はこれらの調査を踏まえ、青光画社の主要なメンバーであった棟方志功、鷹山宇一、松木満史、古藤正雄の4人を主軸に、彼等にとって「青光画社」はどのような意味をなし、その後のそれぞれの画業をどのように展開していったのかを理解しようというものです。

関連事業

■学芸員によるギャラリートーク
隔週日曜（9月14日、28日、10月12日、26日）14：00～（30分）

■ふらっとフライデー！サマーナイトミュージアム
9月19日、26日は20：00まで開館（最終入館19：30）

■美術館あーっと！くらぶ
当館スタッフによるワークショップを企画しています。
詳細は随時ホームページでお知らせします。

ホームページ
QRコード→

道の駅しちのへ「七戸町文化村」～語り継がれる展覧会を～
七戸町立 鷹山宇一記念美術館
https//www.takayamamuseum.jp/
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
TEL: 0176-62-5858 FAX :0176-62-5860

青森県近代文学館で開催中の特別展　棟方志功と青森の文人たち　令和7年10月19日（日）まで